

念々称名

常懺悔

早朝の凜とした空気が肌をさす。

今日も生きてある。

さあ、凍るような清い水で

顔を洗おう。

伸びた背すじで、

灯明と線香を立てさせていただこう。

たちのぼる香煙の中で、

静かに「南無阿弥陀仏……」

今日も命を賜りました。

ありがとう。

さまざまな罪をなすかもしれぬ

今日ひと日、

与えられたるこの日を生きん。

春夏に、秋冬に、

ひと日生くべし。

乙卯の春
晨鶏の祥瑞の中
玉曆奉回己卯の
恥我老残貌座悔
一省経独坐梵王宮
総本山禅林寺第八十七世
法主 東也 臨阿

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長森準玄親下のご染筆です。前号の色紙は、滋賀県大津市在住 高橋美江子様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。メット毎月末抽籤で一名に進呈。

わが造りし悪業はみな貪
 瞋・痴の為せる所、一切を
 今みな懺悔す。

— 略 懺 悔 —

念と移る
 常懺悔

終本の禅林寺法主東



イライラしてつい大声で怒鳴り散らす、
 誰かに責任を押し付ける——これらは私た
 ちの日常よく経験するところですね。この
 結果、何かを見落とし、ますます自らの
 心を荒れさせて行きます。

仏にはこのような所が全くありません。
 心の水は常に平穏を保ち、曇り無き碧空を
 映し出しています。

仏のこの境地にいささかなりとも近づこ
 うと思うならばどうすれば良いでありまし
 ようか。そのためには、一先ず間を置くこ
 とです。そしてそのとき併せて懺悔するの
 です。そうすれば他人を傷つけることもあ
 りませんし、また自らも猛り狂うことがあ
 りません。

懺悔とはまさに自利・利他行なのです。

終本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長 森 準玄宛下の「染筆」です。前号の色紙は、金沢市在住 越村保子様に贈呈いたします。
 ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。切毎月末抽籤で一名に進呈。

智者ちやのふるまひをせずして

ただ一向いっこうに念仏すべし

—『一枚起請文』法然上人—



智者ちやの 一枚起請文

ふるまひをせずして

ただ一向に

念仏すべし

総本山禅林寺法主 永観堂



財あらば 贅ぜいを尽くして

隆盛りゅうせいを驕おごり

若さあらば

老いを尻目に

壮健を誇り

美貌びようがあらば

装あでい艶やかに

化粧して

才さいあらば

道理に酔いて

知識ちしきを衡はかう

慢心まんしんするなけれ

増長ぞうちやうするなけれ

弥陀みだに

生かされて

あるを知れ

ひたすらに

ただ

ひたすらに

南無阿弥陀仏

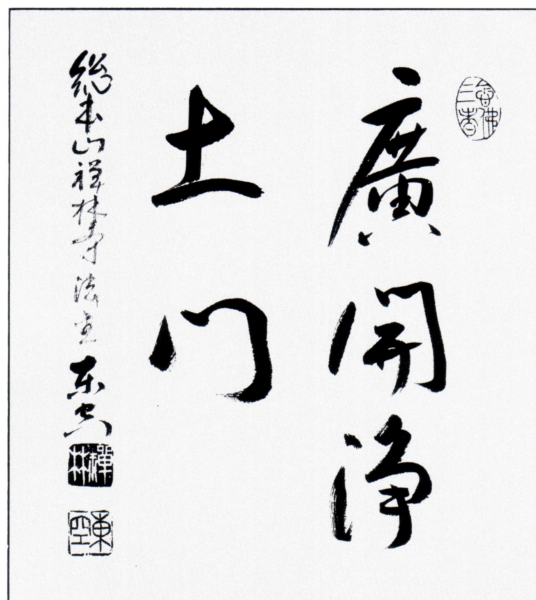
総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長森準玄親下のご染筆です。前号の色紙は、兵庫県高砂市在住 吉田 實様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。メ切毎月末抽籤で一名に進呈。

じつほうこうじゃぶ
十方恒沙仏
こんじょうに そんぎょう
今乗二尊教

ろくつうしょうち
六通照知我
こうかいじょうどもん
広開浄土門

善導大師 『観経疏』 帰三宝偈



この
広い世界に
わたしは
ひとり
この
広い宇宙に
今
わたしは
生きている
大いなる
自然よ
わたしは
歩みます
信じた道を
歩みます
見えざる
偉大な力よ
わたしを
知って
見つけていて
ほしい
今
扉を開けて
信じる道を
歩みます

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長 森 準玄親下の「染筆」です。前号の色紙は、岐阜県羽島郡在住 山本フミ子様に贈呈いたします。
ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。切毎月未抽籤で一名に進呈。

名号とは、「十方衆生往生せずば、

正覚とらじ」と誓いたまいし

法蔵菩薩の正覚の果名なり。

『安心決定鈔』取意

総本山 禪林寺 法主 永観堂 印

名号



以前のことに、「他力本願」を評して「棚からボタモチ」を待つようなもの」と云った政治家がありました。政治家の云った言葉ですから、目くじらを立てるまでもないことですが、此の解釈は完全に誤りです。

「棚からボタモチ」というのは、「思いがけない幸運に巡り逢うこと」を云いますが、その可能性たるや、極めて0に近いからこそ、「棚からボタモチ」が落ちて来るようなもの」と云う誤です。

他力の救済はそうではありません。巡り逢いの可能性一〇〇パーセントのもので、人間が作った可能性一〇〇パーセントではなく、阿弥陀仏が果たしたもうた「可能性一〇〇パーセント」なのです。だから絶対に間違いがないのです。

総本山 永観堂 禪林寺

生まれては まず思い出ん

ふるさとに 契りし友の

深きまことを

— 法然上人御詠

人生の終着駅が近づいた時、自分は何を心の伴侶として生きているだろうか、という問いに、作家の保坂正康氏は、「一人の女性、一冊の本、一軒の家、そして一つの歌」と答えている。

—— 側に居てくれるだけで心安らぐ人、生きる勇氣と知恵を与えてくれる本、安住できる家、口ずさめば心癒される歌を持つ人は幸せである。

況や、共にお念仏を喜びつつ、お浄土での再会を約束する「生涯の友」を持つ人は、もっと幸せである。

総本山 永観堂 禅林寺

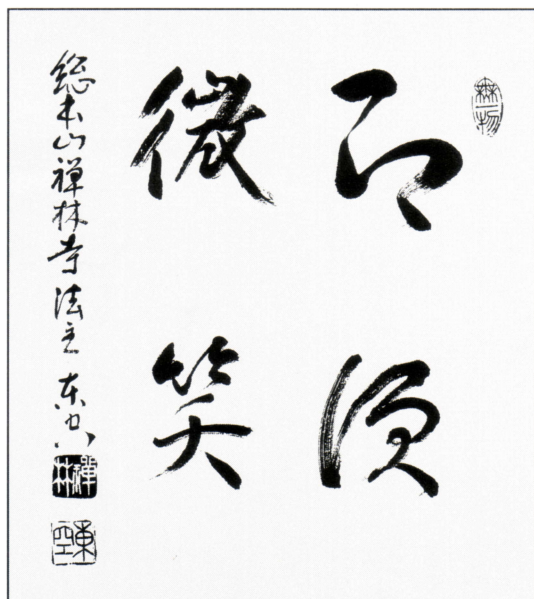
浄土宗西山禅林寺派宗務所



右の色紙は管長森準玄猊下のご染筆です。前号の色紙は、兵庫県姫路市在住 大谷 真様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。切毎月末抽籤で一名に進呈。

即そく便べん
微み笑しょう

— 観無量寿経 —



ひとり
幼子こうし

ただ

母を見つめ

黙して語らず

母と子の

一時の静寂じやうじやく

それは

幼子の

小さき

胸を張り裂く

ながき

長き時間

やがて……

「ごめんなさい」

その一言が

母は微笑みわうみ

幼子は涙し

苦しみの呪縛じゆわくを

解き放つ

総本山 永観堂 禅林寺

如によ
是ぜ
我が
聞もん



阿難（アーナンダ）は
語ります

《如是我聞》
によぜがもん

師である釈尊（ブツダ）から
このように
わたしは聞きました

阿難は
語り始めます

《我聞如是》
がもんによぜ

釈尊から
聞いたのは
このようなことです

師のことばを語る

阿難は
自信に
満ちています

あなたは
あなたに
自信をくれる
師匠がいますか？

阿難は
語ります
あなたに
語り始めます

総本山 永観堂 禅林寺

善 識
知



釋林法主



善 ぜん

知 ち

識 しき

財を以て
佛法を庇護するは
外護の善知識
友を助け
仏道を勧むるは
同行の善知識
信を支えに
仏教を子弟に導くは
教授の善知識
おのが不遇
仏縁を得れば
仇敵もこれ
逆縁の善知識
嬉しいときも
悲しいときも
共に念仏を喜び
同行即善知識

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長森準玄親下のご染筆です。前号の色紙は、京都市在住 荒木宏子様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。切毎月末抽籤で一名に進呈。

天下和順

大無量寿經



何故なんぜのため

硝煙しょうえん

処々しよしよ方々に

立ちのぼり

弾雨だんう

間断かんだんなく

流れ降り

戦火せんかあるところ

悲鳴ひめい

怒号どごう

怨嗟えんさ

……

《兵戈無用》
ひようがむゆう

武器ぶきはいらない

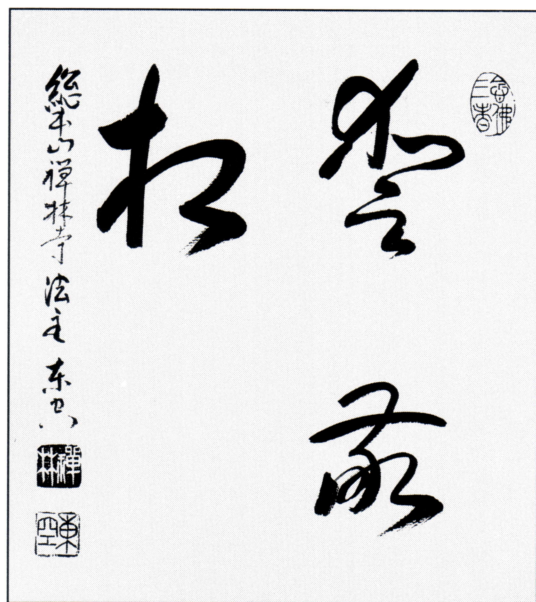
《天下和順》
てんげわじゆん

世界せかいに平和あれ

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長 森 準玄 猊下のご染筆です。前号の色紙は、加古川市在住 杉本茂子様に贈呈いたします。
ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。切毎月末抽籤で一名に進呈。

いちど いちろう
一怒 一老 (怒ると老いる)
いっしょう いちじゃく
一笑 一若 (笑うと若がえる)



人の顔には「いい顔」と「悪い顔」があります。

ほかからで明るく、幸せそうで笑いのある表情や、ひたむきな顔などが「いい顔」です。その反対が「悪い顔」。心の貧しさが、表情に現われるのです。

むさぼりは卑しい顔つきに表われ、怒りは悪相を生じ、愚痴や不満は洪面を作り出す。

仏さまの柔和な心と慈しみを表した容貌を「愛敬相」といいます。

怒りや悲しみにふるえる時、仏さまを拝みましょう。顔や言葉が、仏さまの愛敬相によつて調えられます。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長 森準玄猊下のご染筆です。前号の色紙は、奈良市在住 杉澤純子様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。メ切毎月末抽籤で一名に進呈。

諸しよ法ほう皆かい是ぜ因いん縁ねん生しやう



諸法皆見

因縁生

総本山禅林寺法主 宗光



偶然の出会いなんてありません。

その時ばかりの出会いもあります。

あなたが今まで生きてきた、そのう

えに今日という日があるのです。

さまざまなご縁にささえられて、やつ

と今、出会ったのです。

愛する人とも、かなしいかな憎んで

しまった人とも、うれしいことも、た

のしいことも、悲しいことも、つらい

ことも、さまざまなご縁があつて今

出会えたのです。

会えてありがとうございます。

だからこそありがとうございます。

総本山 永観堂 禅林寺